



TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup RACE REPORT

TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup 2025

| Rd.4 | TOKACHI SPEEDWAY

Qualifying

2025.7.12 SAT

#7 / 3rd / 1'31.897

PRO

●路面コンディション：ドライ ●気温：22℃、路面温度：36℃



エンジンブローで一時は参戦すら危ぶまれたが 急遽用意したスペアカーで望外の3番グリッドを獲得

毎戦、国内のトップカテゴリーで活躍するドライバーたちによる、激しいバトルが繰り広げられる「TOYOTA GAZOO Racing GR86/BRZ Cup」も、2025年シーズンの折り返しとなる第4大会を迎えた。舞台となるのは北海道で唯一の、FIA公認サーキットである十勝スピードウェイ。今年は例年より約1か月早い7月12日(土)に予選、13日(日)に14周で争われる決勝レースが行われた。

2025年シーズンは、バージョンアップしたブリヂストン「POTENZA RE-10D」が導入されたことも相まって、7号車のCABANA BS GR86を駆る堤優威選手は毎戦高いパフォーマンスを発揮。予選では3戦連続でトップタイムを記録し、前戦のスポーツランドSUGOでは今季初優勝を飾った。

第4大会が行われる十勝スピードウェイは、普段から走行する機会が少ないため、コースへの習熟度やコース特性に合ったセットアップをいち早く掴むことが重要となる。堤選手は2023年に2番手から優勝、2024年には3位表彰台と、2年連続で表彰台に登る相性のいいサーキットなので、チームは連勝を目指して7月10日(木)からサーキットに入る。この日は3本のスポーツ走行の枠を使って、持ち込みセットの確認など週末に向けて準備を進めた。

翌日の11日(金)は、雲に覆われたため日差しがなく、最高気温も20℃に届かない肌寒い気候となった。走行2日目は2本のスポーツ走行枠と、タイム計測のある専有走行が行われた。スポーツ走行のタイミングで、タイヤのテストを実施し、週末に向けて最終調整を行う予定だったが、2本目を走行中にエンジンブローでストップ。その場では対処できないため、専有走行の出走はキャンセルすることとなった。

エンジン交換などの重作業はサーキットで実施できない規定のために、今週末に開催されるレースへの参戦が絶望的な状況となった。だが、一縷の望みをかけて昨年GR86/BRZ Cupに参戦していた車両を、十勝スピードウェイまで運ぶ決断をする。この日の飛行機で十勝に入る予定だったチーム代表がフライトをキャンセルして、2人の運転により東京から十勝スピードウェイまで運ぶこととなった。ほぼノーストップで走り続けると、12日(土)の朝9時に十勝スピードウェイに到着。

サーキットにスペアカーが着くとレースに参戦できる状態にするために、懸命な作業が進められた。約90分の作業でけん引フックやオンボードカメラなど、参戦に必要な備品の取り付けだけでなく、7号車で使用していたバケットシートやシートベルト、サスペンションやブレーキなどの足回り、LSDやドライブシャフトなどの駆動系に加え、マフラーなどのパーツも移植した。

なんとか予選に出走できる状態にはなったものの、今週末に初めて乗る車でテストも不十分と不安が残る中、12時35分に公式予選が始まる。コースオープンすると8台がすぐに動き出す。しかし堤選手を含めた半数以上の車は、ピット前で待機し、最初にアタックするドライバーたちのタイムを注視する。残り時間が3分になったところで、堤選手はコースイン。ウォームアップしながら、1周でスペアカーの状態を確認しアタックに入る。すると、前を走る#160 吉田広樹選手のスリップストリームを上手く使いながら、3番手となる1分31秒897を記録して上位のスターティンググリッドを獲得した。



Final

2025.7.13 SUN

#7 / 2nd / 24'30.639 PRO

●路面コンディション：ドライ ●気温：24℃ 路面温度：42℃



予選3番手から抜群のスタートでポジションアップし 2位でチェッカーを受け、開幕から4戦連続で表彰台を獲得

決勝日の13日(日)は青空が広がり、夏日に迫るまで気温が上がった。レースウィークに入りもっとも暑いコンディションとなったため、チームはタイヤの内圧設定に頭を悩ませながらレースに向けて準備を進めた。スケジュール通り11時55分にマシンがコースインし、スタート進行が始まる。

12時10分にフォーメーションラップのためにマシンが動き出すと、各マシンがウェービングしながらウォームアップ行う。フォーメーションラップを終えて、それぞれのグリッドにマシンが収まるとレッドシグナルが点灯。ひと呼吸おいて、14週の決勝レースがスタートした。

昨日の予選後に行われたトップ3ブリーフィングでは、「今のポジションをキープできたら上出来」と語っていた堤選手だが、3番グリッドから抜群の蹴り出しでスタート。前方の2台に接近すると、1コーナーへ進入する前に2番手の#88井口卓人選手をオーバーテイクする。そのままの勢いでトップの#97高橋知己選手に迫ったものの、最終コーナー手前でセーフティーカーが導入され、レースは一旦リセットされる。

5周目にレースが再開すると、#97高橋選手とテールトゥノーズの状態でホームストレートを通過。その後もプレッ

シャーをかけチャンスをうかがうが、オーバーテイクを仕掛けられるまで接近できず、6周目以降はじりじりと差を広げられていく。9周目に入るところには、3番手の#88井口選手がコンマ2秒差まで接近。背後からプレッシャーをかけられるも、巧みなライン取りでポジションを死守し続ける。2台がけん制しあってペースが落ちたことで、12周目には#160吉田広樹選手が追いつき、三つ巴の表彰台争いとなる。13周目には#88井口選手が何度かイン側に飛び込む素振りを見せたが、ミスのない冷静な走り最後までポジションをキープして2位でチェッカーを受けた。

一時はレースへの参戦が危ぶまれる状況だったが、さまざまな努力により短時間でスペアカーを用意できた。急ごしらえのマシンながら結果は2位となり、シリーズランキングではライバルたちに差をつけてトップを維持している。

次の第5大会は、富士スピードウェイが舞台となる。十勝大会から約2か月のインターバルを挟んで9月の第1週に開催される。このレースのない期間を活用して車の整備を行い、次戦も上位で争えるように準備を進めていく。



Team Staff & Driver Comment

| **Team Owner** | Hiroshi Ando |

安藤 宏 チームオーナー



都内から十勝へ出発しようと支度をしていたところ、現地より連絡があり大至急ガレージにあったGR86を十勝スピードウェイに運ぶ計画を立て、すぐに出発しました。翌日の車検前に到着でき、メカニックたちが準備して待機してくれていたので、短い時間でスベアの車を仕上げられました。予選では想定より速いタイムで3番グリッドを得ることができて驚きました。決勝はスタートで井口選手の前に出ることが出来て、ポイント争いし

ている相手を終始リードしながら、粘り強くレースを進めたことにより2位をキープできたと思います。実力が伴わなければ幸運も呼び込めないのがレースの世界なので、今回は会心の2位獲得です。次戦までにはクルマを万全に整えて、体制を備えて次のレースに臨みたいと思います。最後にこのクルマで2位表彰台とポイントを奪取してくれた堤選手と、チームの頑張りには敬意を表します。

| **Driver** | Yuui Tsutsumi | #7 CABANA BS GR86 |

堤 優威 選手



十勝は比較的に結果が良く相性のいいサーキットですが、木曜日と金曜日の走行では、一発の速さはあるもののレースペースは厳しい状況でした。もっとセットアップを煮詰めていきたかったですが、エンジンプローがありテストを最後まで行うことができなかったのは痛かったです。予選はスベアの車に変わりましたが、上手くアジャストできて3番手となりました。決勝はスタートが決まって2番手に上がりましたが、テストができてい

なかったのでレースペースは厳しかったです。なんとか2位をキープしてゴールできたので、スベアの車を運んでくれたチーム代表や、時間がない中で車を仕上げてくれたチームの方々に少しは恩返しできたかなと思います。今週末は色々なことがあり、万全と言える状態ではなかったですが、結果を見れば120点の内容になったと思います。

| **Chief Engineer** | Noboru Yamazaki |

山崎 登 チーフエンジニア



今回は走り出しの手ごたえが薄く、さまざまなセットアップを試しながら少しずついい方向に進めていこうとしました。金曜日はさらにセットアップを煮詰めていきたかったですが、エンジンプローで他に試したかったことができなかったのは痛手でした。なんとかスベアの車を予選に間に合わせることができましたが、しばらく動かしていなかった車だったので不安もありました。それでもドライバーの力で3番グリッドを獲得し、スベア

カーでのアタックとしては100点のできだったと思います。決勝はレースペースや車の信頼性などを心配していましたが、最高のスタートを決めてポジションを上げ、2位でゴールしてくれたことは、今週末に起こったことを考えると上出来すぎる結果だと思います。次戦までにはしっかり車を直し、シリーズランキングトップを維持できるように準備していきます。



CABANA
RACING